

第62期第2四半期(中間期)に
 関するご報告 2019年3月1日~2019年8月31日

High Quality & Low Price



SUPER REPORT

長期ビジョン「瀬戸内商勢圏180店舗3000億円構想」
 中期経営計画4年目の年



Contents

- 事業のご報告 1
- 業績概要 通期の見通し&ハイライト情報 2
- 長期ビジョンとビジネスモデル 3
- 第62期上期の店舗改装状況 4
- ESGへの取り組み 5
- 財務諸表 6



証券コード:2742

事業のご報告



2019年11月

代表取締役社長 **佐藤 利行**

社 訓

和して向上 日々感謝

経営理念

- 一、地域社会の生活文化向上に貢献する
- 一、従業員の幸せづくり人づくりをする
- 一、お取引先様との共存共栄をはかる
- 一、成長発展のため利益を確保する

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに「第62期第2四半期(中間期)に関するご報告」をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は緩やかな景気回復基調が続きましたが、米中貿易摩擦の激化及び今後の消費税率引上げ等により、依然として先行きに不透明感を残す状況で推移しました。

小売業界におきましては、日常の買物での生活防衛意識は変わらず、低価格志向が続きました。オーバーストアの中での競合店の新規出店、業態間競争及び業界再編等、厳しい経営環境が継続しました。

このような状況の中で当社は、次の取り組みを行いました。

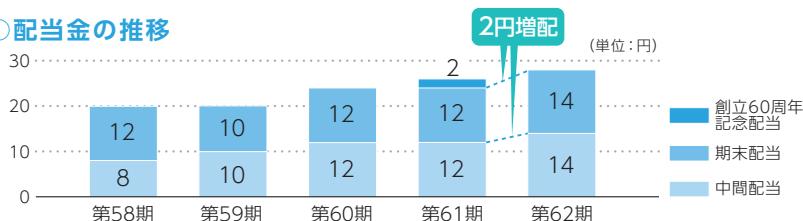
- ①組織面 店舗開発力及び商品力強化を目的とした組織変更
- ②販売促進面 生活防衛企画及び自社会員カード(ハロカ)のポイント優遇施策
- ③商品面 重点販売商品の育成、産地開発商品の増加
プライベートブランド商品のシェアアップ
栄養バランス弁当第7弾の販売
- ④店舗運営面 既存店4店舗の大改装による販売力の強化
直営ベーカリーの新設、セルフレジ導入の拡大
自動発注対象商品の拡大
- ⑤社会貢献面 フードバンク事業運営団体への商品提供
エコセンターによる資源の再利用
第32回瀬戸内倉敷ソーデーマーチへの協賛
産学連携によるレシピ本第3弾の作成
ペットボトルキャップ回収によるキャップ販売収益金の寄付
プライベートブランド商品の一部収益による環境保全活動
地域の子供たちを対象にした食育体験工場見学の開催
自治体との災害時に関する協定の締結

以上の結果、当第2四半期累計期間の営業収益は663億44百万円(前年同期比4.5%増)、営業利益は24億86百万円(前年同期比1.7%減)、経常利益は24億71百万円(前年同期比2.5%減)、四半期純利益は16億64百万円(前年同期比3.1%減)となりました。

当第2四半期(中間期)の配当金は、1株当たり2円増配で普通配当14円となり、また、当期末の配当金は1株当たり2円増配で普通配当14円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○配当金の推移





業績概要

営業収益

当第2四半期累計期間の営業収益のうち、売上高は前期開店した4店舗、前期改装した4店舗、当期改装した4店舗の効果などにより前年同期比27億83百万円増加し646億39百万円(前年同期比4.5%増)となりました。

また、営業収入は前年同期比66百万円増加し17億5百万円(前年同期比4.1%増)となりました。

以上の結果、営業収益は前年同期比28億49百万円増加し663億44百万円(前年同期比4.5%増)となりました。

営業利益

営業総利益は、売上総利益及びテナント収入等の増加により、前年同期比6億74百万円増加し178億17百万円(前年同期比3.9%増)となりました。

販売費及び一般管理費は、最低賃金改定にともなう人件費の増加、増税にともなうシステム改修費としての修繕費の増加などにより、前年同期比7億18百万円増加し153億31百万円(前年同期比4.9%増)となりました。

以上の結果、営業利益は前年同期比44百万円減少し24億86百万円(前年同期比1.7%減)となりました。

経常利益

営業外収益は、前年同期比23百万円減少し60百万円(前年同期比27.8%減)となり、営業外費用は前年同期比3百万円減少し75百万円(前年同期比5.0%減)となりました。

以上の結果、経常利益は前年同期比63百万円減少し24億71百万円(前年同期比2.5%減)となりました。

四半期純利益

特別利益は11百万円、特別損失は6百万円となりました。

以上の結果、四半期純利益は前年同期比53百万円減少し16億64百万円(前年同期比3.1%減)となりました。

通期の見通し

通期の見通しにつきましては、景気は引き続き回復基調を維持するとの見方があるものの、消費税法改正や、実質賃金の低下により、消費マインドの冷え込み懸念など、生活防衛意識による慎重な購買活動及び低価格志向が続くものと見込まれます。加えて、人口の減少、年齢構成及びライフスタイルの変化などが続き、これらへの対応及びオーバーストアなどの競争環境激化への対応が迫られております。

このような環境の中、変化・競争をチャンスととらえ、新規出店及び既存店の改装を積極的に行い、お客様満足度の高い店舗により商勢圏内の優位性確立を目指してまいります。

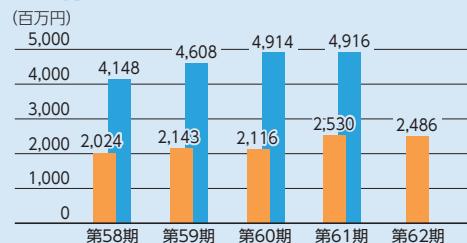
以上により、通期の見通しは当初計画どおり、営業収益1,335億円(前期比4.9%増)、営業利益51億50百万円(前期比4.8%増)、経常利益51億円(前期比3.3%増)、当期純利益33億90百万円(前期比7.2%増)を見込んでおります。

営業収益



(注)「営業収益」は、「売上高」と不動産賃貸収入等の「営業収入」を総称したものです。

営業利益



経常利益



四半期(当期)純利益



長期ビジョンとビジネスモデル



長期ビジョン

瀬戸内商勢圏180店舗3000億円構想

中期経営計画「2020年100店舗1500億円計画」

長期ビジョン「瀬戸内商勢圏180店舗3000億円構想」達成に向け、中期経営計画「2020年100店舗1500億円計画」を推進していきます。

瀬戸内商勢圏180店舗
3000億円 構想



2020年100店舗
1500億円計画

ビジネス
モデル

1

24時間オペレーション

●いつでも買物ができる 24時間営業はお客様への 究極のサービス

様々なお客様のニーズに24時間応えるため、食料品スーパーマーケットならではの豊富な品揃えと、心を込めた接客サービスで、お客様のご来店をお待ちしております。

●雇用と就業ニーズの マッチング

24時間営業を行うためには、深夜帯の従業員の雇用が不可欠となります。当社では、深夜帯でも複数による従業員の就業体系や柔軟なパートタイム勤務体系を導入することで、安心・安全に働くことができる環境整備に取り組んでおります。



様々なお客様のニーズに24時間応えるため

昼

- 商品加工
- レジ業務
- 接客応対

24h

- 商品陳列
- 店内清掃
- 防犯体制

夜

24時間営業・作業の平準化による効率的なオペレーション

[24時間バックアップ]
店舗に合わせた物流体制

[24時間フォローアップ]
本部・センター情報提供

24時間サポート

店舗オペレーションを中心としたビジネスモデル

ビジネス
モデル

2

600坪型店舗のNSC

●600坪型標準店舗

店舗の売場面積は600坪及び450坪を主体に展開しており、全体の70%以上が600坪型店舗であります。売場面積は商品の品揃えの豊富さに比例します。今後も600坪型の店舗を中心に新店を行ってまいります。

●NSCによる競争力のある商業エリア

生活に密着した業種・店舗を誘致してNSCを形成することで、お客様への利便性を高め、魅力あるお買物エリアを展開しております。時代に合った魅力ある店舗構成にすることで、強い競争力を持つNSCづくりに取り組んでまいります。(2019年8月末現在 ハローズのNSC比率 約80%)

※NSC：近隣購買型ショッピングセンター



NSCの一例

ビジネス
モデル

3

High Quality & Low Price Stores (HALOWS)

●より良い品をより安く

当社はより良い品をより安く(High Quality & Low Price Stores)、お客様へ提供し続けることを使命と考えております。自社物流及び本部機能を中心に、調達から販売までをコントロールすることで、品質・品揃えの向上、商品原価の低減を進めてまいります。

●ハローズセレクション

当社プライベート・ブランド(PB)商品「ハローズセレクション」は安全・安心・健康がコンセプトです。

国内外を問わず世界のベストソースから調達・開発を行い、適切な品質とお値打ち価格でお客様にお届けしてまいります。

PB総品目数

911品目

売上高構成比

10.3%

2019年8月末

第62期上期の店舗改装状況



第62期上期 4店舗の大改装

「地域密着及び簡便性商品等の充実を目的とした品揃え・レイアウト変更」「省エネ対応をふまえた店内設備の改修工事」を行いました。

ヒロシマケン
広島県
オノミチシ
尾道市の
「ハローズ
ヒガシオノミチテン
東尾道店」

2019年
3月30日
リニューアル
オープン

開店日：
1997年4月30日



売場面積300坪⇒450坪に増床

カガワケン
香川県
マルガメシ
丸亀市の
「ハローズ
マルガメテン
丸亀店」

2019年
4月27日
リニューアル
オープン

開店日：
2008年6月13日



ヒロシマケン
広島県
フクヤマシ
福山市の
「ハローズ
カスガテン
春日店」

2019年
6月29日
リニューアル
オープン

開店日：
1996年5月3日



オカヤマケン
岡山県
オカヤマシ
岡山市の
「ハローズ
ヒガシオカヤマテン
東岡山店」

2019年
7月5日
リニューアル
オープン

開店日：
2004年10月19日



買い物のしやすい、広い通路幅



省エネ機器の導入

ESGへの取り組み



災害時における物資供給に関する協定

広島県安芸郡海田町とハローズは、「災害時における物資供給に関する協定」を締結いたしました。

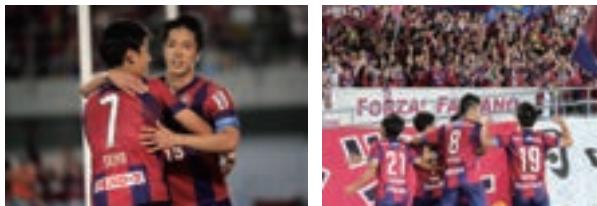
万一の災害発生時に町民の皆様の生活の安定をはかるため、生活必需品の提供等の協力について締結したものです。



「株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブ」オフィシャルスポンサー

J2リーグ所属の株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブと『2019年シーズンユニフォームスポンサー』契約を締結いたしました。

『子供たちに夢を!』のクラブ理念を掲げるファジアーノ岡山を支援することで、スポーツを通じた地域貢献に努めております。



©2004 FAGIANO OKAYAMA SPORTS CLUB CO.,LTD.

500kcal台のバランスメニューのレシピ本

くらしき作陽大学と連携して「1食500～600kcal」「食塩相当量3g未満」「1日に必要な野菜が半分とれる」をコンセプトにしたメニューの「レシピカード」を作成し、店内配布。

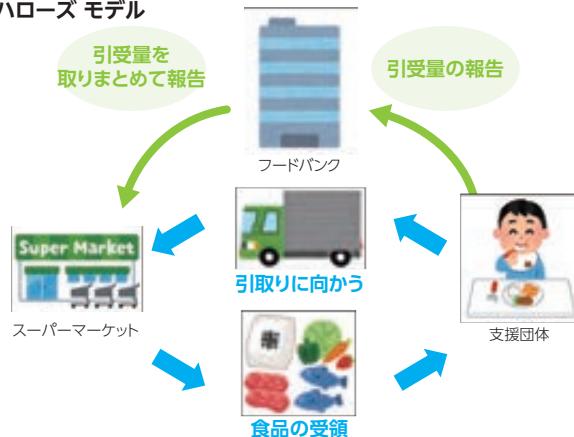
作成した各レシピは「500kcal台のバランスメニュー」レシピ本として、病院や施設等へ配布しています。



食品ロス問題への取り組み

当社の「フードバンク提供促進の先進的な取組」が、「平成30年度 食料・農業・農村白書」に掲載されました。ハローズの店舗から近隣のフードバンクや支援団体へ直接提供する仕組み「ハローズモデル」を、国内の小売業各社様にも賛同していただき、社会貢献の輪を広げることができております。

ハローズ モデル



くるみんマークを取得 3月26日

子育てサポート企業に認定され「くるみんマーク」を取得しました。



栄養バランス弁当第7弾

岡山県立大学と共同開発した栄養バランス弁当第7弾は、健康面だけでなく、味、価格からも、お客様よりご支持を頂いています。



実(422kcal)



奏(639kcal)



明(550kcal)

財務諸表



■ 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

| | 第61期第2四半期末 2018年8月31日現在 | 第62期第2四半期末 2019年8月31日現在 | 第61期 2019年2月28日現在 |
|-----------------|----------------------------|----------------------------|----------------------|
| 資産の部 | | | |
| 流動資産 | 12,272 | 19,916 | 10,613 |
| 現金及び預金 | 6,802 | 14,459 | 5,650 |
| その他 | 5,471 | 5,459 | 4,965 |
| 貸倒引当金 | △ 1 | △ 1 | △ 1 |
| 固定資産 | 52,313 | 53,912 | 53,221 |
| 有形固定資産 | 42,611 | 44,204 | 43,199 |
| 無形固定資産 | 593 | 447 | 573 |
| 投資その他の資産 | 9,108 | 9,260 | 9,448 |
| 資産合計 | 64,586 | 73,829 | 63,834 |
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | 16,978 | 25,368 | 16,531 |
| 買掛金 | 7,978 | 14,851 | 6,369 |
| 一年内返済予定の長期借入金 | 3,192 | 2,937 | 2,978 |
| リース債務 | 562 | 611 | 580 |
| 未払金 | 871 | 1,465 | 1,892 |
| 未払費用 | 1,223 | 1,430 | 1,052 |
| 未払法人税等 | 946 | 933 | 1,072 |
| その他 | 2,202 | 3,137 | 2,585 |
| 固定負債 | 17,155 | 15,371 | 15,626 |
| 長期借入金 | 10,184 | 8,478 | 8,750 |
| リース債務 | 1,335 | 1,197 | 1,267 |
| 退職給付引当金 | 584 | 627 | 602 |
| 資産除去債務 | 1,186 | 1,227 | 1,215 |
| 預り建設協力金 | 1,173 | 1,065 | 1,120 |
| 長期預り敷金保証金 | 1,689 | 1,770 | 1,706 |
| 長期前受収益 | 647 | 666 | 619 |
| その他 | 353 | 339 | 344 |
| 負債合計 | 34,134 | 40,739 | 32,157 |
| 純資産の部 | | | |
| 株主資本 | 30,359 | 32,981 | 31,575 |
| 資本金 | 3,114 | 3,114 | 3,114 |
| 資本剰余金 | 3,065 | 3,068 | 3,066 |
| 利益剰余金 | 24,312 | 26,906 | 25,519 |
| 自己株式 | △ 132 | △ 108 | △ 124 |
| 評価・換算差額等 | 0 | 0 | 0 |
| その他有価証券評価差額金 | 0 | 0 | 0 |
| 新株予約権 | 91 | 108 | 100 |
| 純資産合計 | 30,452 | 33,090 | 31,677 |
| 負債純資産合計 | 64,586 | 73,829 | 63,834 |

(注)各諸表の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期損益計算書

(単位:百万円)

| | 第61期第2四半期 累計期間 2018年3月1日から 2018年8月31日まで | 第62期第2四半期 累計期間 2019年3月1日から 2019年8月31日まで | 第61期 2018年3月1日から 2019年2月28日まで |
|----------------------|--|--|-------------------------------------|
| 売上高 | 61,856 | 64,639 | 123,949 |
| 売上原価 | 46,352 | 48,527 | 92,830 |
| 売上総利益 | 15,504 | 16,112 | 31,119 |
| 営業収入 | 1,638 | 1,705 | 3,373 |
| 営業総利益 | 17,143 | 17,817 | 34,492 |
| 販売費及び一般管理費 | 14,612 | 15,331 | 29,576 |
| 営業利益 | 2,530 | 2,486 | 4,916 |
| 営業外収益 | 83 | 60 | 173 |
| 営業外費用 | 79 | 75 | 152 |
| 経常利益 | 2,534 | 2,471 | 4,937 |
| 特別利益 | 67 | 11 | 74 |
| 特別損失 | 42 | 6 | 212 |
| 税引前四半期(当期)純利益 | 2,558 | 2,476 | 4,800 |
| 法人税等 | 841 | 812 | 1,638 |
| 四半期(当期)純利益 | 1,717 | 1,664 | 3,161 |

■ 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| | 第61期第2四半期 累計期間 2018年3月1日から 2018年8月31日まで | 第62期第2四半期 累計期間 2019年3月1日から 2019年8月31日まで | 第61期 2018年3月1日から 2019年2月28日まで |
|--------------------------|--|--|-------------------------------------|
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 4,945 | 12,789 | 7,129 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △ 3,463 | △ 2,773 | △ 4,648 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | 705 | △ 882 | △ 1,468 |
| 現金及び現金同等物 に係る換算差額 | — | — | — |
| 現金及び現金同等物 の増減額(△減少額) | 2,187 | 9,133 | 1,013 |
| 現金及び現金同等物 の期首残高 | 5,483 | 6,496 | 5,483 |
| 現金及び現金同等物 の四半期末(期末)残高 | 7,670 | 15,630 | 6,496 |



会社概要 (2019年8月31日現在)

会社設立 1958年10月14日
会社名 株式会社ハローズ
資本金 31億1,414万円
本社 広島県福山市南蔵王町六丁目26番7号
(同所は登記上の本店所在地で実際の業務は下記で行っております。)
本部 岡山県都窪郡早島町早島3270番地1
 電話番号:086-483-1011(代表)
従業員数 1,148名
事業内容 食品スーパーマーケット業
(食料品、日用雑貨品等の販売)
店舗数 82店舗
(広島県28店舗、岡山県25店舗、香川県11店舗、愛媛県7店舗、徳島県5店舗、兵庫県6店舗)

役員 (2019年8月31日現在)

| | |
|---------|-------|
| 代表取締役社長 | 佐藤利行 |
| 取締役副社長 | 佐藤太志 |
| 専務取締役 | 小田俊二 |
| 専務取締役 | 小島宏教 |
| 専務取締役 | 小亀井公一 |
| 常務取締役 | 花岡秀典 |
| 常務取締役 | 高橋正名 |
| 取締役 | 小塩登美子 |
| 取締役 | 末光憲司 |
| 取締役 | 藤井義則 |
| 取締役 | 池田千明 |
| 常勤監査役 | 岡本均 |
| 監査役 | 稲福康邦 |
| 監査役 | 松本 卿 |
| 監査役 | 小林正和 |

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会 毎年5月
剰余金の配当基準日 中間 毎年8月末日
 期末 毎年2月末日

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒541-8502
 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 大阪証券代行部
 電話 0120-094-777(通話料無料)

- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行(口座管理機関)の上記電話及びインターネットでも24時間承っております。
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>
- 株主様の住所変更等の各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

上場金融商品取引所 東京証券取引所市場第一部
単元株式数 100株
公告掲載方法 電子公告

公告掲載URL <https://www.halows.com/>
 ○やむを得ない事由により、電子公告が出来ない場合は、日本経済新聞に公告いたします。